



さつき学園だより

令和5年12月22日号

校長 原田 英和

守口市立さつき学園

〒570-0055 大阪府守口市春日町13番26号

電話：06-6991-0440 / Fax：06-6995-2511

今日、2学期の終業式を迎えました。この2学期はコロナウイルス感染症による行動制限も解除され、ほぼ予定通りに教育活動を行うことができました。様々な行事や普段の学校生活を送る中で、子どもたちは大きく成長してくれました。このように2学期を無事に迎えることができたのも、保護者の皆様のご理解ご協力があったからこそと感じております。この場をお借りして御礼を申し上げます。

世間ではコロナウイルス感染症は、下火になってきたとは言え、インフルエンザが猛威を振るっています。くれぐれも体調を崩されないよう、ご自愛ください。皆様が良き新年を迎え、充実して過ごされることを願っています。

<終業式講話より>

校長先生からお話をします。今回も放送での実施となりました。話を聞く姿勢はできているでしょうか。2学期の終わりに当たって、校長から皆さんへのメッセージをこれから伝えます。

さて、2023年も残すところ10日足らず、皆さんにとってどのような年だったでしょうか。2023年と言えば、WBC、ラグビーワールドカップ、世界卓球、世界陸上、バスケットボールワールドカップなどのスポーツイベントが開催され、日本選手はもちろんのこと、世界中のアスリートが、我々に大きな感動を与えてくれました。目標に向かって努力を続ける姿には、学ぶべきことが多くあったように思います。皆さんも目標をしっかりと立て、それに向けて、努力をしていってください。たとえ、目標が達成されなくとも、それに向けて頑張ってきたことは必ず、今後の皆さんの力となっていくと思います。

それともう一つ・・・

2023年、世界の情勢に目を向けると、残念なことにロシアによるウクライナへの進行やイスラエルとパレスチナとの紛争など、人と人との争いによって、多くの罪のない人々が命の危機にさらされ、現在も状況は良い方向に向かっていません。日本に住んでいる我々にとっては、遠い異国の地で起こっている争い事に過ぎないと考えがちですが、唯一の被爆国として、国民一人ひとりができることを考えることが大切だと思います。先日、生徒会の皆さんが朝、校門の前に立ち、ユニセフの募金活動を行っていました。この募金の一部は、世界の紛争や飢餓で苦しむ子どもたちに贈られます。このような地道な取り組みを今後も行ってほしいと思いました。そして、このような悲しい争いがなくなることを心から祈っています。

最後に12月に入り、朝晩の寒暖差が大きく、10℃以上気温が変化する日があります。それとともにインフルエンザが猛威を振るっています。この年末年始、油断することなく、くれぐれも基本的な感染対策を怠らず、自分自身の健康と生活管理には、しっかり気を配り、有意義な冬休みとなるよう過ごしてください。そして、3学期の始業式には、全員元気な顔を見せてくれることを心から願って、2学期終わりの校長からのお話を終わります。 ※この後、低学年の皆さん向けにまとめた形で分かりやすく伝えます。

<教育フォーラム>

12月19日(火)、学校運営協議会主催の教育フォーラムが本校大アリーナで開催され、7年生から9年生が参加しました。今回の教育フォーラムは「もりぐち夢・未来大使」で元プロ野球阪神タイガースの選手として活躍された岩田 稔さんの講演でした。1型糖尿病と闘いながら、16年間の現役生活を送られた話や夢に向かって努力することの大切さを伝えていただきました。子どもたちにとって大変有意義な講演となりました。岩田さん、ありがとうございました。

